

事例

オープンキッチン（工場見学）やマヨネーズ教室等を通して、食の大切さ・楽しさを伝える（第6回食育活動表彰 農林水産大臣賞受賞）

キューピー株式会社（東京都）

キューピー株式会社では、「食を通じて社会に貢献する」という精神の下、健やかな食生活の実現を目指し、食の大切さ・楽しさを伝える活動として、昭和36（1961）年に工場見学を開始し、その後小学校への出前授業等を継続的に実施しています。

令和2（2020）年からは、新型コロナウイルス感染症の影響下でもこれらの活動を継続するため、オンラインで子供たちが参加しやすい環境づくりを広げています。オープンキッチン（工場見学）には、幼児から大人までを対象とした、「離乳食教室」や「SDGsって?!」等、10種類以上のコースを準備して（現在はオンライン見学の一部を休止中）、クイズを取り入れたり、質問を投げかけたり、双方向のやり取りができる構成とするなど、参加者が飽きないように工夫をしています。保護者向けのオンライン離乳食教室では、「コロナ禍で地域の離乳食講座も開講されないの、このような教室があって良かった。」との声もあり、離乳の進め方やベビーフードの使用法等を伝えることにより、保護者の不安や疑問の解消に貢献しました。また、子供向けの料理教室「キッズクック」では、使用する食材の旬や季節の行事を考慮したレシピを月替わりで提案し、「自分で料理できた!」、「また料理してみたい!」という食や調理への興味・関心の向上に貢献しました。このような取組を通じて、食の大切さ・楽しさだけではなく、野菜や卵を中心とした食事や栄養について考え、健康寿命の延伸につながる食行動の変容を促す機会を創出しています。

そのほか、小学校への出前授業「マヨネーズ教室」では、マヨネーズの秘密や野菜を摂取することの大切さを学び、マヨネーズの手作り体験を行っています。「食生活アカデミー」は、小学生から中学生までを対象に、未来を創る子供たちが、食の知識や体験を通して生活を豊かにし、新たな関心や興味につなげ、将来に役立ててほしいという思いで制作されたウェブサイトです。夏休みの自由研究や小学校の授業で活用されています。

今後も、赤ちゃんから高齢者までの様々な世代に寄り添った食体験の場づくりや、食生活に関する情報発信等を行い、食育の充実を図ります。



「キッズクック」子供向けオンライン料理教室



マヨネーズ教室の様子